

## ～ 中学部の地域と連携した学習の紹介 ～

### 1年生 生活単元学習 『お茶について知ろう』

昨年度に引き続き、今年度も緊急事態宣言発出の影響を受け、校外学習が制限される等、厳しい状況が続く中ではありますが、宇治支援学校では、これまで大切にしてきた地域と連携した学習を、今できる形に変え、工夫をしながら取り組んでいます。

今回は、その中から中学部1年生が1学期に生活単元学習で取り組んだ『お茶について知ろう』の学習の様子を紹介します。大変なコロナ禍でも、地域の皆様からの御協力のおかげで、具体的・体験的な学習に取り組むことができ、とても有難く思っています。

地元の特産物である“お茶”の種類や淹れ方を学びました。



例年であれば、校外学習で茶摘み体験をするのですが、今年度については、校内にある茶畑で実施しました。



今年度は、新型コロナの影響により校外学習が中止になった為、地元のお茶屋さん（吉田銘茶園様）の所有する茶畑へ指導者が出向いて、学習で使う茶葉を摘ませていただきました。



2017年度に宇治鳳凰ロータリークラブ様からお茶の苗木を寄贈していただきました。校内の畑で大切に育てています。



毎年、中学部の1年生が、水やりや草ぬき、成長の記録を取る等、茶畑の世話を担当しています。



提供していただいた生の茶葉を、ホットプレートを使って自分たちで製茶しました。



学習の最後には、“お茶パーティー”を計画し、身近な先生を「おもてなし」しました。